

日本養生学会主催

ようせいフォーラム 2020 シンポジウム (2月29日)のご案内

参加無料

テーマ「陰陽思想を現代に活用する」

陰陽とは中国伝統の考え方で、物事は相反する2つのことからできていて、そのバランスをとることで人生、生活、健康などのよりよいあり方を考えていこうというものです。例えば、夜（陰）と昼（陽）、夏（陰）と冬（陽）、女（陰）と男（陽）、植物（陰）と動物（陽）などです。

シンポジウムでは、「便利と不便のバランス」というテーマでまずは基調講演があります。便利になりすぎる弊害、不便でも益となることもあるという考えを通して、生活を考え直すきっかけをつかんでいただければ幸いです。その後「陰陽五行説について」、「全体と部分の関係」これは木を見て森を見ずの考えといえます。最後に「気功と太極拳」は陰陽はどのように扱われているかを、**それぞれの専門家の方々にわかりやすくお話しいただきます**ので、一般の方々もぜひご参加ください。

基調講演

便利と不便のバランス 川上浩司（京都大学デザイン学リーディング大学院）

シンポジウム

陰陽五行説について 木島史雄（愛知大学現代中国学部）

全体と部分の関係 藤永博（和歌山大学）

太極拳と気功における陰陽思想 蒲生諒太（立命館大学）

日時： **2月29日 13:00～16:00 途中休憩あり**

場所： 愛知大学名古屋校舎 講義棟**3階** **L305教室**

参加費：無料



太極図

太極図は、大きな白丸（陽）の中に小さな黒丸（陰）があり、大きな黒丸の中に小さな白丸があります。陰の中にも陽があり、陽の中にも陰がありという考えです。